



学校だより

上尾の児



第1号

令和3年4月8日

埼玉県立上尾特別支援学校

<https://ageo-sh.spec.ed.jp/>



「不易」と「流行」

校長 竹野谷 一幸

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対応に追われた1年でした。児童生徒のがんばり、保護者の皆様のご理解、ご支援のお陰で何とか本校の教育活動を進めることができました。改めて心から感謝申し上げます。

当面の間は、新しい生活様式を着実に実行しながら、子どもたちの豊かな心を大切に、保護者の皆様ならびに地域や関係諸機関の方々から、より一層の信頼をいただけますよう、教職員一丸となって精一杯取り組んでいく所存です。どうぞよろしく願いいたします。

さて、本日、小学部10名、中学部7名、高等部32名の新転入生を迎え、全校児童生徒数181名で令和3年度がスタートしました。特に新転入生の皆さんは、不安なこともあるかもしれませんが、新しい環境に慣れ、期待を持って元気に登校してほしいと思っています。

また、今回の教職員の人事異動等ですが、21名が転出・退職となりました。転出等された方は、在籍年数は個々によって異なりますが、本校児童生徒のために精一杯努めてくれました。そして、新たに教頭をはじめ、20名が本校に配属となりました。

教育においては、どんなに社会が変化しようとも「時代を超えて変わらない価値のあるもの」（不易）があります。しかし、また、教育は同時に社会に無関心であってはなりません。「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」（流行）に柔軟に対応していくこともまた、教育に課せられた課題です。

本校を去られた方々が築かれた良き伝統をしっかりと引き継ぎ、新たに着任された方々とともに、子どもたち一人一人が自立と社会参加にむけて着実に成長できるよう、適切な指導及び必要な支援を、時代の趨勢に合わせながら積み重ねてまいります。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対するご理解、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

